

## 中央管理からの Vision のデプロイ

Windows コンピューターへのソフトウェアのリモート デプロイがサポートされているシステムが存在する場合、そのシステムから MSI (MicroSoft Installer) パッケージを介して Vision をインストールできます。一般的なリモート デプロイ システムには Microsoft SMS/グループ ポリシー、Novell ZENworks、Altiris Notification Server などがあります。

Vision はすべてのオプションとライセンス情報を含むカスタマイズされた MSI パッケージを作成できるため、複雑なインストール スイッチは必要ありません。

**注記:** 古いバージョンの Vision を実行しているコンピューターに Vision をインストールする場合、インストールする前に古いバージョンを削除する必要があります。

クラスルーム全体を Vision にアップグレードする場合、先生用コンピューターのデプロイ機能を使用して生徒用モジュールをすべて削除してから、先生用モジュールを手動でアンインストールし、先生用モジュール マスターをインストールし、デプロイ機能を使用して生徒用コンピューターにインストールします。

Microsoft Edge でのウェブフィルタリング機能は、生徒が使用するデバイスに [APPX](#) アプリケーションがインストールされているかどうかによって異なります。

## Vision MSI インストール パッケージの作成

1. Vision セットアップ プログラムを実行します。  
Vision セットアップ プログラムを保存したフォルダーを開き、このプログラムをダブルクリックします。
2. **[次へ]** をクリックしてインストールを開始します。
3. 使用許諾契約書を読んで同意してから、**[次へ]** をクリックします。
4. ユーザー名や組織などの顧客情報を入力し、**[次へ]** をクリックします。
5. 次の画面で、**[MSI の作成]** オプションを選択します。
6. 以降の画面で、必要に応じて任意情報を入力します (生徒、先生、ライセンス、シンプル/拡張セットアップ など)。  
生徒用拡張セットアップ モードでは、次のいずれかを行えます。
  - Windows XP の一括ログオン認証プロバイダー (gina.dll) をインストールする。  
その他のサードパーティ ログオン プロバイダー (Novell ネットワーキング、指紋ログイン、スマートカード ログインなど) を使用している場合、このプロバイダーはインストールしないでください。これは Windows XP でのみ実行できます。
  - Google Chrome Web ブラウザーのシークレット モードを無効にする。  
シークレット モードを無効にしなかった場合、Web フィルターが機能しなくなります。
7. 作成先フォルダーを選択して **[作成]** をクリックし、**[完了]** をクリックしてインストーラーを終了します。

選択した作成先フォルダーに次の 3 つのファイルが作成されます。

1. Vision.ini
2. Vision\_x64.msi
3. Vision\_x86.msi

デプロイシステムがネットワーク コンピューターへの配布に使用するフォルダー内にこれらすべてのファイルが配置されている必要があります。

## Vision 更新パッケージの作成

1. Vision セットアップ プログラムを実行します。



Netop は複数のコンピューターがインターネット上でビデオ、画面、サウンド、データを迅速、安全、シームレスに転送するためのソフトウェア ソリューションを開発および販売しています。詳細については、[www.netop.com](http://www.netop.com) を参照してください。

Vision セットアップ プログラムを保存したフォルダーを開き、このプログラムをダブルクリックします。  
[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

2. 使用許諾契約書を読んで同意してから、[次へ] をクリックします。
3. 次の画面で、[MSI の作成] オプションを選択します。
4. [セットアップ タイプ] 画面で、[Vision アップグレード] を選択して [次へ] をクリックします。
5. 作成先フォルダーを選択して [作成] をクリックし、[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

選択した作成先フォルダーに次の 3 つのファイルが作成されます。

1. Vision.ini
2. Vision\_x64.msi
3. Vision\_x86.msi

デプロイ システムがネットワーク コンピューターへの配布に使用するフォルダー内にこれらすべてのファイルが配置されている必要があります。

## Vision MSI パッケージのデプロイ

各デプロイ ツールには独自の規則と規約のセットがあります。使用しているツールの製品ドキュメントを参照してください。各システムでは MSI パッケージの実行がサポートされており、インストールのさまざまな要素を制御する関連コマンド ライン スイッチが用意されています。

必要なすべてのコンポーネントがインストーラー パッケージに統合されています。

インストールの前に以下を確認します。

- ファイルとプリンターの共有がオンになっている
- ファイアウォールがオフになっている
- ユーザー アカウント制御がオフになっている

デプロイするには、デプロイ ツールで次のいずれかのコマンド ラインを使用します。

```
msiexec /i Vision_x86.msi /qn  
msiexec /i Vision_x64.msi /qn
```

ターゲット コンピューターにコンポーネントがサイレント インストールされます。

コマンド プロンプトが昇格されている必要があります (管理者として実行)、“/qn” パラメーターは必須です。3 つのファイルすべてが同じディレクトリ内にある必要があります。

ini ファイルは編集しないでください。ini ファイルから実行可能なオプションはすべて、インストーラーのインターフェイスからも実行できます。

## APPX アプリケーションのデプロイ

Microsoft Edge でのウェブフィルタリング機能は、生徒が使用するデバイスに APPX アプリケーションがインストールされているかどうかによって異なります。

前提条件：

- Windows 10 (秋のクリエイターアップデート以降)
- Microsoft Edge (バージョン 42 以降)
- サイドロードアプリを有効にする必要があります ([詳細はこちら](#))

方法：

- [こちらから Netop Web Filter アプリケーションをインストールします](#)
- 大規模なデプロイメントの場合、以下の記事をご覧ください：
  - [Configuration Manager を使用してアプリケーションをデプロイする](#)
  - [SCCM を使用した APPX アプリのデプロイ](#)